

報 告

第25回医学情報サービス研究大会参加記

増田 徹

日 時：2008年7月12日～13日
場 所：筑波大学 春日キャンパス

初めて医学情報サービス研究大会（以下、情報研）に参加したのは、2001年に行われた第18回の松山大会だった。確認するまでは静岡大会が先だと思っていたので、いいかげんなものだ。現在の職場に採用されたのが2000年の5月で、それまで公共図書館で非常勤職員をしていたから、まわりに全く知り合いがいなかった。一人で松山まで行き、まる2日間たぶん誰とも言葉をかわさなかったと思う。覚えているのは参加者らの熱意、それから次々となされる発表の内容がよく理解できなかったこと。質疑応答が盛んで、みなさん本当にすごいなと感じたあのインパクトは忘れられない。それ以降、東京大会だけ不参加だったので、今回で7度目となる。

今回もさまざまな演題を聞かせていただいたが、毎年発表される方もいるし、満を持して発表してきた方もいる。図書館の勤務をこなしながら、研究課題を持ち、それをすすめていくことがどれほど大変なことか、これは勤務経験が長くなるにつけ思い知る。内容についても、着眼点のよさと熱意、受ける刺激は今も変わらないままだ。

人的交流ということでは、図書館の仕事をする上で重要だとわかっていても、なかなか苦手で、とりわけ懇親会が億劫なのだが、今回京都大会以来2度目の懇親会参加を果たした。参加してみるといろいろな図書館員や業者さんからお声をかけていただき、楽しかった。企業展示も今年はスタンプラリー制になっていて、よりお話を聞きやすくなっていた。各ブースでもらえるグッズは、情報研の楽しみのひとつである。



ますだ てつ：藍野大学 中央図書館
t-masuda@kanri-u.aino.ac.jp

長崎大会からは当協議会の出版物を、出店して販売させていただいている。学生時代サークルに入っておらず、学祭でタコ焼き屋などをするのがあこがれであったので、夢がかなって感謝している。なにより自分たちがつくったものを望んでくださる方を目の前に見ることができるのは、とてもうれしいことである。

今年は会場が筑波大学ということもあって、

図書館学を専攻する学生さんも発表されていたが、もとの図書館情報大学がどういところなのかぜひ一度見てみたかった。

情報研を運営されている方々をはじめ、情報研にかかわられたみなさん、どうもありがとうございました。年に一度の情報研、本当に楽しみにしています。また来年もよろしくお祈いします。

